

日本沿岸域学会 研究グループ 研究計画提案書

平成 19 年 3 月 30 日

研究テーマ	沿岸域のワイズユースとルール化に関する研究						
目的	<p>昨今、沿岸域において、海面利用調整や環境保全に関わる関係者間のルール(地域内の申し合わせ、協定、計画、構想等)が、全国各地で作成されるようになった。これらルール化の取組は、テーマや内容、関わる主体、熟度も様々であり、一概に評価、論じることができない。</p> <p>本研究は、各地域で実践されている沿岸域のルール化の動きに着目し、どのような特徴(漁業権との関係等)と課題を内包しているか、さらには当該地域へ及ぼす影響(効果)や現状におけるルール化そのものの限界について、主として漁業サイドから整理・分析するとともに、これらをもとにルール化の効用と目指すべき目標・態様について考察することを目的とする。</p>						
活動内容	<p>本研究は、次のフレームワークに基づき実施する。適宜研究会を開催し、内容の精査に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 沿岸域におけるルール化の本質と今日的課題(総論) 2. ルール化の実態(各論:事例調査) <ol style="list-style-type: none"> 1) 事例地: 知床(世界自然遺産)、湘南地域・大阪湾(大都市)、佐世保(放置艇)等の沿岸域利用を検討する。 2) ルールの根拠、ルールの拘束性・実効性、ルールの自律性などの観点から整理・分析する。 3. ルールを規定する普遍的要素を抽出し、ワイズユースに向けた望ましい沿岸域ルールを明らかにする(結論) 						
グループの構成	氏名	会・非	専門分野	所属・役職	住所	電話番号	FAX番号
世話人	小野 征一郎	会	漁業経済	近畿大学農学部教授			
グループ構成員	妻 小波	会	漁業管理	東京海洋大学海洋科学部 教授			
	原田 幸子	会	漁業管理	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科			
	木下 明	会	沿岸域管理	財団法人日本システム開発研究所			
	牧野 光琢	非	沿岸域管理	独立行政法人 水産総合研究センター 中央水産研究所			
日程表	研究期間	平成19年6月～平成21年3月		開催頻度	研究会は年3回を想定。 事例調査随時実施。		
	開催場所	研究会は随時決定。 事例調査は随時実施。		研究運営費			